



明るい少し乾いた草地に見られる。



羽葉と小羽片の先端は分裂しない。



孢子嚢群は葉縁にある。

区別のポイント

羽状複葉で、小羽片の先端は分裂せず尾状に伸びる。新芽を食用とする。

形態 夏緑性のシダ植物。

分布 全国

名前の由来 茎（から）と芽（め）に由来するという説がある。

葉 **〈全体〉**長さ 50 cm以上の三角状卵形で3回羽状複葉、やや硬い紙質。

〈葉柄〉1mを越えることもある。基部は暗褐色で淡褐色の毛が密にある。

〈羽片〉基部の羽片が特に大きい。

〈小羽片〉羽状に深裂して裂片は鈍頭。小羽片の先端は尾状に長く伸びる。

備考 有毒：プタキロサイド、アノイリナーゼ。屋久島の密度の高い地域で食べていないところも。

出典 1